



# 遠大勵志

## 県夏季陸上男子100

### 高杉(黒沢尻北)会心V

【7月5日 岩手日報記事より】

陸上の県夏季大会第1日は4日、北上市の北上総合運動公園陸上競技場で男女計27種目が行われ、男子100mは高杉時史(黒沢尻北3年)が10秒79で制した。2位の国吉堯胤(日大3年)に0秒01差で競り勝った。

#### 【男子】

- ・100m 第1位 高杉時史 10秒79
- ・200m 第1位 高杉時史 21秒92
- ・5000m競歩 第5位 伊藤亘平 26分59秒29
- ・3000m障害 第6位 昆遙 10分13秒27
- ・走り高跳び 第6位 柴田駿吾 1m80
- ・棒高跳び 第8位 箱崎翔大 4m10

昨秋の茨城国体に出場した本県400mリレーのメンバーが100mで激戦を繰り広げた。高杉時史(黒沢尻北3年)と国吉堯胤(日大3年)が競り合い、0秒01差で高杉に軍配が上がった。「走りはいい。後半勝負と思って走った」と会心のレースに胸を張った。高杉は得意の前半で抜け出し、中盤でさらに加速。90m付近で国吉に並ばれたが、終盤に粘って10秒79でフィニッシュした。「大会中止が続いて早く走りたい。陸上を始めた小さい頃みたいに楽しめた」と喜んだ。

新型コロナウイルスの影響で、集大成の年にインターハイで活躍する夢も消えた。それでも「いかに早く気持ちを切り替えられるかだと思った。大会に向けていつでも走れるように準備をするだけ」と心は折れなかった。U18日本選手権の10月開催が決まった。「まずは10秒50の県高校記録。さらに10秒30の県記録も目指したい」。理想の走りを追い求めた先に大記録が見えてくる。

## 県夏季陸上

### 女子走り高跳び 八重樫V

【7月6日 岩手日報記事より】

陸上の県夏季大会最終日は5日、北上市の北上総合運動公園陸上競技場で男女19種目が行われ、女子走り高跳びは県記録保持者の八重樫澄佳(黒沢尻北高3年)が1m70で制した。男子200mは高杉時史(黒沢尻北3年)が前日の100mとの2冠を達成。

## 開幕戦好スタート 八重樫

女子走り高跳びを制した八重樫澄佳(黒沢尻北高3年)は、1m70までの試技5回を一発成功。自身が保持する県記録(1m75)には届かなかったが、今季開幕戦を好記録でスタートした。1m58から登場し、冬季に磨いたスピードとパワーで成功を重ねた。昨季の全国中学校大会3位の向井柚稀(盛岡市立高1年)が1m64の2位で試技を終えると、自身との戦いが始まった。

1m73ではやや助走が乱れた。「1m71以上の助走が安定していない。リズム、ストライドが変わっている感じ」。微調整を重ねたものの、3回の試技で成功の旗が上がらなかった。照準を合わせる10月の全国高校大会では、試技が「2回まで」とされており、1回ごとの成功率が勝負の分かれ目となるという。

今大会は1m70にとどまったものの、大舞台で戦う意識が試技内容に色濃く出ていた。昨季はランキングトップで全国高校総合体育大会(インターハイ)を迎えたが結果は11位。代替大会の同選手権では「自己新で1位」の目標を成し遂げ、高校ラストイヤーを笑顔で締めくくる。

#### 【女子】

- ・走り高跳び 第1位 八重樫澄佳 1m70
- ・5000m競歩 第1位 小姓堂乃々香 27分2秒22
- ・棒高跳び 第1位 新田奈菜子 2m90
- ・100m障害 第2位 八重樫澄佳 15秒45
- ・走り幅跳び 第6位 菅原舞 4m87
- ・4×100mリレー 第6位 51秒59 (高橋、新田、菅原、高橋)
- ・4×400mリレー 第6位 4分21秒74 (高橋、高橋、三浦、新田)

